

2022年度

理学療法学科 2 学年
教育計画

関東リハビリテーション専門学校

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 神経内科学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書
(出版社) : なし参考書
(出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 神経系の疾患の原因、症状、治療について理解する。

【講義概要】

神経内科は脳血管障害、脳腫瘍、脱髄疾患、変性疾患など多くの疾患を学ぶ領域であり、その病態も多様である。

本講義をするにあたり、人体の神経系の構造と機能について総論的に説明し、その後疾患各論へ展開していく。

回数	項 目	内 容
1	神経系の構造と機能	感覚・運動 伝導路
2	〃	脳神経(1)
3	〃	脳神経(2)
4	代表的な脳の病態	頭蓋内圧亢進症状、脳ヘルニア、髄膜刺激症状
5	脳血管障害	脳卒中(1)
6	〃	脳卒中(2)
7	腫瘍	脳腫瘍
8	認知症	アルツハイマー病、脳血管性認知症
9	〃	その他の認知症
10	炎症	脳炎、髄膜炎
11	脱髄性疾患	多発性硬化症など
12	神経変性疾患	パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症など
13	〃	その他の神経変性疾患
14	神経・筋の異常	重症筋無力症、筋ジストロフィーなど
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。

臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 整形外科学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 整形外科疾患とデジタルブック(学研メディカル秀潤社) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 整形外科疾患の原因、症状、治療について理解する。

【講義概要】

整形外科学は四肢および脊柱疾患や外傷を中心に、骨・関節・筋肉を主に扱う外科学の一分野である。

本講義では各疾患の成因とメカニズム、治療方法について解説していく。

回数	項目	内容
1	運動器の構造と機能	骨、筋肉、関節の構造、上肢 下肢 脊椎の構造
2	整形外科疾患総論	骨、関節の感染症、慢性関節疾患、骨腫瘍
3	〃	関節リウマチ、代謝性骨疾患、運動器の外傷
4	整形外科疾患各論	肩関節、上腕
5	〃	肘関節、前腕
6	〃	手関節、手指
7	〃	頸椎
8	〃	胸椎
9	〃	腰椎
10	〃	胸郭
11	〃	骨盤、脊柱変形
12	〃	股関節、大腿
13	〃	膝関節、下腿
14	〃	足関節、足
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。

臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 内科学 担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学(医学書院) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 内科疾患のメカニズム、治療について理解する。

【講義概要】

内科学は主に身体の臓器（内臓）を対象とし、一般に手術によらない方法での診療とその研究を行う医学の一分野である。医学においてその基礎中心ともいえる領域である。本講義では各内科疾患の成因とメカニズム、治療方法について解説していく。

回数	項 目	内 容
1	循環器	循環器の疾患
2	〃	〃
3	呼吸器	呼吸器の疾患
4	消化器	消化器の疾患
5	神経系	神経系の疾患
6	免疫系	免疫系の疾患
7	〃	〃
8	感染症	感染症
9	代謝系	代謝疾患
10	尿路系	尿路系の疾患
11	血 液	血液疾患
12	腫 瘍	腫瘍
13	〃	〃
14	その他	頭痛、腹痛、栄養学など
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。

臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 精神医学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 精神神経疾患ビジュアルブック (学研メディカル秀潤社) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 精神科疾患の症状や治療について理解する

【講義概要】

精神医学の領域として発達障害、神経性障害、気分障害（躁うつ）、統合失調症などの指針疾患の原因と治療について説明する。また近年の高齢化に伴い増加している認知症の原因と治療についても詳しく解説していく。

回数	項 目	内 容
1		小児の精神的発達
2	広汎性発達障害	自閉症スペクトラム アスペルガー症候群
3	〃	〃
4	〃	自閉症スペクトラム 自閉症
5	〃	〃
6	その他の発達障害	ADHDなど
7	神経症性障害	不安、強迫を中心とする神経症性障害
8	〃	〃
9	躁病、うつ病	躁病、うつ病のメカニズムと治療
10	統合失調症	統合失調症の原因と治療
11	認知症	認知症の原因と治療
12	〃	〃
13	てんかん	てんかんの原因と治療
14	人格の障害	人格の障害
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。

臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 臨床心理学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : リハビリック 心理学・臨床心理学(医歯薬出版) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 心理検査法、異常心理学、心理療法等、臨床心理学の基礎知識を習得する。

さらに、理学療法士として必要とされる、傾聴や共感の力、そしてコミュニケーション能力を身につける。

【講義概要】 臨床心理学の基礎となる精神・心理の異常、アセスメント、心理療法について学ぶ。

また自己理解および他者理解を深める一環として、グループワークも積極的におこなう。

回数	項 目	内 容
1	臨床心理学概要	授業の概要説明、臨床心理学とは何か
2	防衛機制 1	防衛機制とは
3	防衛機制 2	共感、傾聴
4	防衛機制 3	転移と逆転移・障害受容の過程
5	心理アセスメント 1	心理アセスメントの目的、方法
6	心理アセスメント 2	データの分析方法・異常心理学
7	心理検査 1	人格検査
8	心理検査 2	知能検査・発達検査
9	心理検査 3	認知機能検査
10	介入技法 1	行動療法・認知行動療法等
11	介入技法 2	精神分析療法、内観療法等
12	介入技法 3	来談者中心療法等
13	介入技法 4	集団精神療法・森田療法等
14	復習	前期の復習・練習問題等
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式が基本である。

各種心理検査や心理療法を体験する時間を設け、結果の解釈や成立した背景、臨床上の留意点などを紹介する。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 薬理・栄養学 担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : リハビリテーション薬理学・臨床薬理学 (医歯薬出版) 参考書 : クスリのことろがわかる本 渡邊泰雄 (地人書館)

教育目標 【到達目標】 : 健康を維持するために、予防と治療後のケアは重要である。そのために、食事・運動は身体を保持するために欠かせないが、且つ、栄養素・サプリメント・保健用医薬品・医療用医薬品の適切な用法用量の設定は医療従事者として知識を習得すべきである。

本科目は、生理機能に影響を及ぼす「クスリ（栄養素を含む生理活性物質）」に関して、吸収・代謝・排泄を基盤として適格な知識を蓄える事を

【講義概要】 指定した教科書は、理学療法士の為に纏められた「クスリ学」であり、身体の栄養となる知識を、最低限、得るための

基本情報として使用する。これに、加えて講義では実践薬理学ならびに栄養補給学を講義する。

回数	項目	内容
1	クスリ（栄養素を含む）とは？	生体内で、何らかの機能性を発揮するクスリ（五大栄養素、天然・合成物質、各種医薬品）について理解する。
2	リハビリにおける「クスリ」の役割と危険性	生理機能に影響を及ぼす「外来物質」は、時として有害と成る。各クスリの相互作用に関して理解する。
3	クスリを理解するための基礎知識	健康な時に使うクスリ（トクホ・栄養食品も含む）と治療時に使うクスリの違いを理解する。
4	クスリが作用発現する理由	クスリが生理機能に影響を及ぼす作用発現のメカニズムを理解する。
5	クスリの用法と用量	クスリが生理機能に影響を及ぼすための用法や用量に関してS字曲線を理解する。
6	生体内でのクスリの動態	クスリの吸収・代謝・排泄に関して、代表例を学びながら基礎知識を理解する。
7	クスリの作用に影響する因子	クスリの効能発現の差異、相互作用、相加相乗効果に関して理解する。
8	クスリの服用法・剤型・依存・耐性	クスリを非経口・経口投与する時のメリット・デメリットや剤型に因る違い、さらには、依存性や耐性に関して理解する。
9	感染・炎症に関与するクスリ	感染症や炎症に関わるクスリの概要とそれぞれの免疫系に関わる機能を理解する。
10	神経疾患に関わるクスリ	重要な神経疾患で使用されているクスリに関して中枢神経・末梢神経での働きを理解する。
11	精神疾患に関わるクスリ	代表的、且つ、疾患例の多い精神疾患に使用されているクスリに関して感覚系・脳機能系での働きを理解する
12	循環器系疾患に関わるクスリ	高血圧症を基盤とした代表的な循環器系疾患に関連するクスリに関して各作用点での働きを理解する。
13	疼痛に関わるクスリ	「痛み」に関連する成因を基盤として関連するクスリの多様性を理解する。
14	代謝性疾患に関わるクスリ	メタボリックシンドロームなど多くの問題を含む代表的疾患に関連するクスリの効能を理解する。
15	まとめ	クスリに関しての総括的な知識を理解する。
<p>【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。本試験ならびに毎回のレポートと講義中の集中度も採点対象となる。</p>		
<p>【授業の方法・形式と教員紹介】 指定した教科書を中心に、付記する点ならびにキーワードは板書で行う。</p> <p>時として、パワポの資料も配布するが必ず、自らが筆記しキーワードを纏める様にして欲しい。</p> <p>毎回の講義で「まとめ・質問」を書いて提出して貰う。出欠席は厳格に行う。</p>		

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学療法管理学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書
(出版社) : なし参考書
(出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GIO:理学療法士の組織としての管理について理解する

SBO:①働き方の観点から個人のみならず組織としての管理について説明できる ②理学療法を効率よく安全に提供

するための安全管理・感染症について説明できる③診療報酬について理解する

【講義概要】

理学療法士の個人だけではなく、組織での働き方と安全にサービスを提供するための安全管理や診療報酬について、臨床場面での具体的な事例を踏まえながら学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	理学療法管理学の概要について
2	病院の分類と組織	医療機関での組織について
3	専門職とチーム	リハビリテーションにかかわる職種と診療報酬について
4	社会保障	社会保障のしくみについて
5	医療保険制度	医療保険制度の概要について
6	介護保険制度	介護保険制度の概要について
7	診療・介護報酬	診療報酬・介護報酬を費用対効果について
8	多職種連携	保健・医療・福祉の分野でかかわる職種とかかわりについて
9	業務管理	施設での業務管理について
10	情報管理	情報収集と記録の管理について
11	リスク管理	医療安全とリスクについて
12	感染症管理	感染症管理について
13	権利擁護と職業倫理	権利擁護と職業倫理について
14	教育管理	臨床実習の仕組みと国家試験について
15	まとめ	まとめと確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式を基本として行う。担当教員は医療機関などで理学療法士として勤務し、管理職として組織の管理をはじめ、教育、安全管理などに従事している。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : PT評価学II(運動器系) 担当講師 : 藤瀬 幸一

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 理学療法評価学(金原出版) 参考書 :
(出版社) : 新・徒手筋力検査(協同医書出版社) (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GIO;理学療法における各評価の意義を理解し、各疾患に対し適切な評価項目を選択・

実施することができる。SBO:①各検査・測定に必要な解剖学・生理学・運動学的知識を有する。②信頼性・再現性の

ある検査・測定が実施できる。③検査測定の臨床的意義を説明できる。

【講義概要】

整形外科疾患の評価を行う上で必要な筋力検査と整形外科疾患特有の検査について、講義や演習を通して学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション、検査に必要な解剖学・運動学の確認
2	筋力検査	検査に必要な解剖学・運動学の確認
3	筋力検査	筋力、筋力低下
4	筋力検査	筋力検査
5	MMT	総論
6	MMT	総論
7	MMT	肩関節
8	MMT	肩関節
9	MMT	肩甲骨
10	MMT	肩甲骨
11	MMT	肘関節、前腕
12	MMT	手関節
13	MMT	股関節
14	MMT	股関節
15	MMT	股関節、膝関節
16	MMT	足関節
17	MMT	指
18	MMT	母指
19	MMT	頭部・頸部
20	MMT	体幹・顔面

21	MMT	実技練習
22	MMT	実技練習
23	整形外科疾患検査	頭部の整形外科疾患検査
24	整形外科疾患検査	腰部の整形外科疾患検査
25	整形外科疾患検査	上肢の整形外科疾患検査
26	整形外科疾患検査	下肢の整形外科疾患検査
27	MMT・整形外科疾患検査	知識の整理
28	MMT・整形外科疾患検査	知識の整理
29	MMT・整形外科疾患検査	まとめ
30	MMT・整形外科疾患検査	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】

講義方式と実技演習での学習を行う。実技演習の時間を多くとる。担当教員は理学療法士として病院での勤務経験があり、患者に対して理学療法評価を行っていた。その経験に基づいて授業を展開する。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年： 2 科 目 名： 理学療法評価学Ⅲ〔神経系〕 担当講師： 反町 拓

単 位： 2 単位 教育時間： 60 時間

教科書： 理学療法評価学 改訂6版（金原出版） 参考書：
(出版社) (出版社)

教育目標【到達目標】： (G10) 神経系の理学療法評価法の意義を理解し、評価技能を習得する。

(SB0s) 神経系の理学療法評価法の意義・目的を説明できる。神経系の各種検査・測定を正しく実施できる。

【講義概要】 理学療法における正しい評価・検査方法の理解と正確な実践は理学療法介入の前提として临床上重要な位置づけである。本講義は神経学生理学的・解剖学的背景を踏まえ、検査の意義・目的を理解し、正しく理学療法評価を実践することを目標とする。

回数	項目	内容
1	評価学総論	この講義についての説明 理学療法における評価・検査の意義
2	障害概論 問診法	神経障害概論(中枢・末梢神経障害・神経系疾患) 問診の方法
3	感覚総論	神経総論 感覚とは 感覚の分類・感覚の生理解剖
4	感覚検査法①	感覚検査器具の説明・検査の手順・記録方法・表現方法
5	感覚総論	伝導路・感覚障害の特徴 表在感覚・深部感覚・複合感覚
6	感覚検査法②	表在覚(温痛覚・触圧覚) 検査の理論と方法
7	感覚検査法③	表在覚(温痛覚・触圧覚) 検査法復習
8	感覚各論	神経損傷・臨床での感覚障害の捉え方・異常感覚
9	感覚検査法④	深部感覚(運動覚・位置覚) 検査法・複合感覚(二点識別覚) 検査法
10	感覚検査法⑤	深部感覚検査法・複合感覚検査法復習
11	疼痛評価①	疼痛検査の理論と方法・その他の異常感覚について
12	疼痛評価②	痛みの鑑別・カウンセリング
13	実技の確認①	感覚検査法・疼痛評価法の手技の確認
14	実技の確認②	感覚検査法・疼痛評価法の手技の確認
15	反射検査法①	反射検査器具の説明・検査の手順・記録方法・表現方法・深部腱反射
16	反射検査法②	反射検査器具の説明・検査の手順・記録方法・表現方法・深部腱反射復習
17	反射検査法③	病的反射検査
18	反射検査法④	病的反射検査 復習
19	実技の確認③	深部腱反射検査の手技の確認
20	実技の確認④	病的反射検査の手技の確認

21	姿勢反射検査・運動発達検査	姿勢反射検査・運動発達検査の理論と方法
22	片麻痺機能検査①	片麻痺機能検査の理論と方法・ブルンストローム・SIAS
23	片麻痺機能検査②	片麻痺機能検査の理論と方法・ブルンストローム・SIAS
24	筋緊張検査・協調性検査①	筋緊張検査・協調性検査とバランス検査の理論と方法
25	筋緊張検査・協調性検査②	筋緊張検査・協調性検査とバランス検査の理論と方法
26	脳神経検査・高次脳検査①	脳神経検査・高次脳検査の理論と方法
27	脳神経検査・高次脳検査②	脳神経検査・高次脳検査の理論と方法
28	実習① 測定手技の確認	測定手技の総復習と確認テスト
29	実習② 測定手技の確認	測定手技の総復習と確認テスト
30	まとめと確認テスト	前期の復習とまとめ、確認テスト

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式は対面講義に加え、実技演習を実施する。実技演習に多くの時間を割り当て、模倣-実践-習得を反復する。講師は回復期リハビリテーション病院で機能障害、活動制限の症例を数多く担当した。臨床に即した安全で妥当性の高い評価方法の実践と習得を講義の第一目標とし、講師の臨床経験を分かりやすく伝えていく。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学3[中枢] 担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 神経障害理学療法学 I 第2版 (中山書店) 参考書 : 病気がみえる⑦脳神経 第2版 (メディックメディア)
(出版社) (出版社)

教育目標 【到達目標】 : GIO:脳血管疾患の理学療法について理解する

SBO : ①中枢神経系の構造と機能を理解する ②脳血管疾患の症状と障害像を理解する

③脳血管疾患の評価と治療について理解する

【講義概要】

脳や脊髄といった中枢神経のしくみや働きを理解し、脳血管疾患（主に脳卒中）の病態・検査測定・動作の特徴・治療方法などを学んでいく。

回数	項 目	内 容
1	脳血管障害とは	オリエンテーション、脳血管障害の理学療法とは
2	中枢神経系の構造と機能①	中枢神経系の構造と機能 総論
3	中枢神経系の構造と機能②	中枢神経系の構造と機能 (大脳皮質、大脳辺縁系、大脳基底核)
4	中枢神経系の構造と機能③	中枢神経系の構造と機能 (脳幹、脳神経)
5	中枢神経系の構造と機能④	中枢神経系の構造と機能 (運動・感覚神経)
6	中枢神経系の構造と機能⑤	中枢神経系の構造と機能 (脳血管)
7	中枢神経の構造と障害	まとめと確認
8	脳血管障害の分類と特徴①	脳出血について
9	脳血管障害の分類と特徴②	脳梗塞について
10	脳画像①	画像所見と臨床症状①
11	脳画像②	画像所見と臨床症状②
12	片麻痺患者の特徴. 評価①	意識レベル、総合評価、筋緊張
13	片麻痺患者の特徴. 評価②	ブルンストロームステージ
14	片麻痺患者の特徴. 評価③	感覚、深部腱反射
15	まとめ	まとめと確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技方式で行う。

担当教員は理学療法士として病院・介護施設・在宅の分野で多くの脳血管疾患のケースを担当している。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学 3 [中枢]

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 (出版社) : 神経障害理学療法学 I 第2版 (中山書店)

参考書 (出版社) : 病気がみえる⑦脳神経 第2版 (メディックメディア)

教育目標 【到達目標】 : GIO: 脳卒中の理学療法の流れが理解できる

SBO : ①基礎情報から評価項目の抽出しその理由を説明できる ②動作観察行い、その結果から動作分析を行える

③評価結果からICFで問題点の抽出ができる④治療プログラムの立案ができる

【講義概要】

脳や脊髄といった中枢神経のしくみや働きを理解し、脳血管疾患（主に脳卒中）の病態・検査測定・動作の特徴・治療方法などを学んでいく。

回数	項 目	内 容
1	脳血管疾患の評価①	前期の振り返り、評価について（BSR）と促通
2	脳血管疾患の評価②	上田の12段階と促通方法
3	脳血管疾患の合併症①	高次脳機能障害
4	脳血管疾患の合併症②	疼痛、嚥下、排尿障害
5	補助具について	装具・杖・福祉用具について
6	脳血管疾患の評価③	評価について（SIAS）と演習
7	リスク管理について	リスク管理・予後予測について
8	脳血管疾患の治療①	動作の特徴と治療（臥位・寝返り・起上り）
9	脳血管疾患の治療②	動作の特徴と治療（座位）
10	脳血管疾患の治療③	動作の特徴と治療（立上り・移乗）
11	脳血管疾患の治療④	動作の特徴と治療（立位・歩行）
12	脳血管疾患の治療⑤	動作の特徴と治療（階段・トイレ）
13	脳血管疾患の治療⑥	治療の実技
14	脳血管疾患の治療⑦	治療の実技
15	まとめ	まとめと確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技方式で行う。

担当教員は理学療法士として病院・介護施設・在宅の分野で多くの脳血管疾患のケースを担当している。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学4 [機能障害・神経学]

担当講師 : 石川 幸喜

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : 機能障害科学入門(神陵文庫)

参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 人体に発生する機能障害の機序に関して解剖学・生理学的な知見を踏まえて理解し、理学療法評価および治療に役立てることが出来るようになることを目標とする。

【講義概要】

機能障害科学 (神陵文庫) の内容を基に、理学療法において多く遭遇する機能障害を中心に学習する。

回数	項 目	内 容
1	炎症	炎症の定義、炎症のしくみ
2	急性痛	痛みの定義、急性痛の発生メカニズム
3	慢性痛	慢性痛の発生メカニズム
4	創傷	創傷の定義、創傷の治癒過程
5	体液 脱水 浮腫	体液について、脱水・浮腫のメカニズム
6	靭帯損傷	靭帯損傷の定義、靭帯損傷の治癒過程
7	腱損傷	腱損傷の定義、腱損傷の治癒過程
8	骨折	骨折の定義、骨折の治癒過程
9	筋損傷	筋損傷とは、筋損傷の治癒過程
10	末梢神経損傷	末梢神経損傷の分類、治癒過程
11	筋萎縮	筋萎縮の原因、廃用性筋萎縮、サルコペニア
12	関節可動域制限	関節の機能解剖
13	関節可動域制限	関節可動域制限の発生メカニズム
14	講義のまとめ①	炎症～腱損傷までのまとめ
15	講義のまとめ②	骨折～関節可動域制限までのまとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

一般病院、介護老人保健施設に勤務時代の、疼痛、関節可動域制限、廃用性筋萎縮、靭帯損傷に対する理学療法の経験を授業に生かしていきたい。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学4 [機能障害・神経理学]

担当講師 : 反町 拓

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 神経難病領域のリハビリテーション 実践アプローチ (出版社) : (メディックメディア) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : (G10) 理学療法領域における難病 (神経筋疾患) リハビリテーションの意義と目的、理学療法治療の方法について理解する。(SBOs) 主な難病の病態・特徴を説明できる。主な難病のリハビリテーションの方法を説明できる。

【講義概要】

臨床において難治性疾患や進行性疾患は、理学療法士がかかわる機会も多く、パーキンソン病やアルツハイマー型認知症は高齢化に伴い今後

さらに増加していくと予想されている。難病は現病の関わりだけでなく、二次的障害の予防やライフステージへの介入が必要となり、栄養やバイタルサインなどの

リスク管理も重要となる。本講義では多様な神経筋疾患の病態と、理学療法治療介入について学んでいただく。また、感染症予防に留意しながら進めていく。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	神経難病領域のリハビリテーションの意義 支援の方法
2	神経難病の障害像	病期別アプローチの方法 終末期の支援
3	摂食嚥下障害	神経筋疾患の評価と対応
4	疾患別理学療法①	パーキンソン病 (PD) 病態の概要と対応
5	疾患別理学療法②	パーキンソン病 (PD) 病期別治療アプローチ
6	疾患別理学療法③	脊髄小脳変性症 (SCD) 病態の概要と対応
7	疾患別理学療法④	脊髄小脳変性症 (SCD) 病期別治療アプローチ
8	疾患別理学療法⑤	筋委縮性側索硬化症 (ALS) 病態の概要と対応
9	疾患別理学療法⑥	筋委縮性側索硬化症 (ALS) 病期別治療アプローチ
10	疾患別理学療法⑦	多発性硬化症
11	疾患別理学療法⑧	筋ジストロフィー
12	疾患別理学療法⑨	その他の疾患① 筋疾患 ギランバレー症候群 横紋筋融解症 筋炎
13	疾患別理学療法⑩	その他の疾患① 自己免疫疾患
14	振り返り	神経・筋疾患リハビリテーションの振り返り
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式は対面講義に加え、実技演習を実施する。実技演習では、神経・筋疾患などの病態理解と治療の展開を中心に実施する。特にハイリスク患者が対象となるため、担当時の心構えや留意点についても説明する。講師は神経内科や在宅リハにおいて、神経難病症例を数多く担当した。臨床に即し、安全で病態に配慮した治療の実践を講師の臨床経験を交え分かりやすく伝えていく。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学5 [整形外科] 担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 運動器障害理学療法学 (メジカルビュー社) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 整形外科疾患 主に運動器障害に対する知識と技術の獲得を目標とする。

【講義概要】

整形外科疾患、運動器（骨・関節・筋）疾患領域は理学療法士が臨床上、担当する機会の最も多い領域であろう。本講義の前期は若年者、競技者のみならず、高齢者の骨関節疾患と治療・手術・リハビリテーション介入についても説明する。

回数	項 目	内 容
1	総論	運動器障害理学療法とは①
2	総論	運動器障害理学療法とは②
3	総論	組織修復・治癒過程総論①
4	総論	組織修復・治癒過程総論②
5	総論	骨折・脱臼総論①
6	総論	骨折・脱臼総論②
7	各論 上肢（上肢帯）の骨折①	疾患の概要、評価と治療①
8	各論 上肢（上肢帯）の骨折②	疾患の概要、評価と治療②
9	各論 大腿骨骨折①	大腿骨骨折の概要、理学療法評価、理学療法プログラム①
10	各論 大腿骨骨折②	大腿骨骨折の概要、理学療法評価、理学療法プログラム②
11	各論 膝・下腿骨骨折①	疾患の概要、理学療法評価、理学療法プログラム①
12	各論 膝・下腿骨骨折②	疾患の概要、理学療法評価、理学療法プログラム②
13	各論 変形性股関節症①	疾患の概要、理学療法評価、保存・術後理学療法プログラム①
14	各論 変形性股関節症②	疾患の概要、理学療法評価、保存・術後理学療法プログラム②
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、実技も適宜取り入れて行う。

担当教員は病院にて急性期・回復期リハビリテーションに携わっていた経験があり、実務経験に基づいた授業を行う。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学5 [整形外科] 担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : PTマニュアル 脊髄損傷の理学療法 (医歯薬出版) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 整形外科疾患 筋骨格障害 関節リウマチ 靭帯損傷

脊髄損傷等に対する基礎知識・技術の習得

【講義概要】

整形外科疾患、運動器（骨・関節・筋）疾患領域は理学療法士が临床上、担当する機会の最も多い領域です。本講義は高齢者の骨関節疾患と脊髄損傷における治療・リハビリテーション介入について説明する。

回数	項 目	内 容
1	関節リウマチ①	関節リウマチ
2	関節リウマチ②	関節リウマチの薬物療法・理学療法
3	関節リウマチ③	関節リウマチの理学療法
4	靭帯損傷①	足関節
5	靭帯損傷②	膝関節
6	靭帯損傷③	肩関節
7	脊髄損傷①	病態生理・診断
8	脊髄損傷②	評価
9	脊髄損傷③	肺理学療法
10	脊髄損傷④	損傷高位別床上動作
11	脊髄損傷⑤	損傷高位別床上動作
12	脊髄損傷⑥	損傷高位別移乗動作
13	脊髄損傷⑦	損傷高位別歩行練習
14	脊髄損傷⑧	車いすスポーツ等
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とします。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行います。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本としますが、治療実技については治療室、機能訓練室で実施。理学療法士として勤務した経験をお伝えする中で、受講生に運動器リハビリテーションや障がい者支援の重要性を知っていただきたい。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学6 [呼吸・循環・内部障害] 担当講師 : 反町 拓・内山 寛

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : 内部障害 理学療法学テキスト (南江堂) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : (GIO)理学療法領域における呼吸リハビリテーションならびに内部障害リハビリテーションの

意義と目的、理学療法治療の方法について理解する。(SB0s) 循環・呼吸器・内臓諸臓器の機能構造について説明ができる。

循環・呼吸器・内臓諸臓器疾患とリハビリテーション・リスク管理について説明できる。

【講義概要】 統計上近年の本邦の老年期の死因のほとんどは内部障害に起因するものである。そうした背景から、癌、循環器、呼吸器、

腎障害、あるいは廃用症候群などの内部障害のリハビリテーションは非常に重要な位置づけにある。本講義では重要器官の機能と構造、

呼吸介助、排痰、吸引操作などのリハビリテーションに関わる各種手技を学んでいただく。また感染症予防に留意しながら進めていく。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	内部障害リハビリテーションとは
2	呼吸器の復習	呼吸器の解剖学 胸部画像 生理学 病理学 換気障害の分類
3	呼吸器の評価	触診・聴診・打診・筋力検査・呼吸能力検査法
4	呼吸リハの実践①	リラクゼーション
5	呼吸リハの実践②	呼吸訓練法 胸郭可動域訓練 呼吸筋トレーニング
6	呼吸リハの実践③	排痰法 スクイーミング 呼吸PNF
7	呼吸ケア①	標準予防策の実践 グローブ・マスク・ガウンテクニック
8	呼吸ケア②	喀痰吸引の実践
9	呼吸ケア③	〃
10	呼吸ケア④	〃
11	前半総括	呼吸器患者とADL 在宅指導 栄養と嚥下 呼吸器まとめ
12	代謝障害	代謝障害、代謝異常疾患について
13	〃	糖尿病、腎疾患
14	〃	糖尿病のリハビリテーション、人工透析とリハビリテーション
15	〃	〃
16	〃	〃
17	がん	がんについて、がんのケア
18	〃	がんのリハビリテーション、周術期リハビリテーション
19	肝機能障害	肝臓の働き、肝機能
20	膀胱・直腸機能障害	膀胱、直腸の機能障害と治療

21	免疫	免疫のしくみと疾患
22	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式は対面講義に加え、実技演習を実施する。実技演習では、循環・呼吸・内部障害の病態理解と治療の展開を中心に実施する。

また近年理学療法士に認められた喀痰吸引手技の習得を目標とする。特にハイリスク患者が対象となるため、担当時の心構えや留意点についても説明する。講師は回復期リハビリテーションや

在宅リハビリテーションの勤務経験から、呼吸・内部障害症例を数多く担当した。臨床に即し、安全で病態に配慮した治療の実践を、講師の臨床経験を交え分かりやすく伝えていく。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学6 [呼吸・循環・内部障害]

担当講師 : 内山 覚・反町
拓

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間

教科書
(出版社) : なし参考書
(出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 循環器理学療法に必要な基礎知識を理解する。

【講義概要】

内部障害理学療法治療学講義内の循環器理学療法について講義する。心電図・心エコーの臨床実際について説明する。

回数	項 目	内 容
1	循環	解剖、生理、病態
2	〃	〃
3	循環	評価、バイタルサイン
4	〃	〃
5	循環	循環器理学療法
6	〃	〃
7	循環	心電図、心エコー
8	〃	〃
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式を基本とする。

心電図、心エコー、運動負荷試験については治療室、機能訓練室で実施することもある。

理学療法士として心臓リハビリテーションに携わってきた経験を交え伝えていく。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学7[老人・小児理学]

担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 高齢者理学療法学テキスト (南江堂) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 高齢化社会における理学療法を考えその基本(老年症候群・特徴)を学び理解する。

【講義概要】

超高齢社会を向かえ、高齢患者を担当する機会が多くなっている。

本講義では、高齢者特有の問題点を理解・把握し、高齢患者の理学療法に必要な知識を深めていく。

回数	項 目	内 容
1	ライフステージと高齢者像	老化とは、高齢者の心理など
2	加齢に伴う身体機能・精神機能の変化	高齢者の身体的特徴、高齢者の精神(認知)的特徴
3	老年症候群	老年症候群の特徴、高齢者がかかりやすい疾患
4	高齢者の生活機能評価	運動機能等、評価の確認
5	高齢者の理学療法を実施するうえでの留意事項	高齢者の理学療法に伴うリスク管理等
6	高齢者の骨・関節障害と理学療法 ① 大腿骨頸部骨折	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
7	高齢者の骨・関節障害と理学療法 ② 変形性膝関節症	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
8	高齢者の中枢神経障害と理学療法 ① 脳血管障害(脳卒中)	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
9	高齢者の中枢神経障害と理学療法 ② パーキンソン病	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
10	高齢者の代謝障害と理学療法 糖尿病	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
11	高齢者の循環障害と理学療法 心疾患	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
12	高齢者の呼吸療法と理学療法 呼吸器疾患 高齢者の悪性腫瘍(がん)と理学療法	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
13	地域高齢者と理学療法士	リハビリテーションマネジメントの概要、介護保険サービスの概要
14	高齢者の健康寿命の延伸	高齢社会の現状、地域包括ケアシステムと理学療法士の役割
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、介護予防事業等の事例を基に実際の現場の雰囲気を感じられるような時間も適宜取り入れる。担当教員は病院にて訪問リハビリテーションや介護予防事業に携わっていた経験があり、高齢者のリハビリテーションの実務経験に基づいた授業を行う。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学7[老人・小児理学] 担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト 第3版(南江堂) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 理学療法で関わる小児疾患の概要及び疾病特性を理解する。

また、それに対する理学療法の内容を理解することを目標とする。

【講義概要】

正常姿勢反射、運動発達を理解し、実技にて発達を体験する。さらに脳性麻痺児、その他疾患の臨床像、評価、理学療法に関して実技を取り入れ学習する。

回数	項 目	内 容
1	正常発達	正常姿勢反射と運動発達
2	発達の演習	各姿勢での発達の体験
3	小児の理学療法評価	姿勢反射の検査、脳性麻痺児の評価
4	姿勢反射の演習	姿勢反射の検査実習
5	脳性麻痺の概要	脳性麻痺の概念、タイプ別の臨床像
6	脳性麻痺痙直型	脳性麻痺痙直型の特徴と理学療法
7	痙直型への理学療法演習	痙直型への治療概要および治療技術の実習
8	脳性麻痺アテトーゼ型	脳性麻痺アテトーゼ型の特徴と理学療法
9	アテトーゼ型への理学療法演習	アテトーゼ型への治療概要及び治療技術の実習
10	N I C U、重度心身障害	N I C U、重度心身障害の概要と理学療法
11	ダウン症、 その他の筋ジストロフィー	ダウン症の特徴と理学療法、その他の筋ジストロフィーの特徴
12	低出生体重児、 ダウン症への理学療法演習	低出生体重児、ダウン症への治療技術の実習
13	デュシャンヌ筋ジストロフィー	デュシャンヌ筋ジストロフィーの特徴と理学療法
14	子供の整形外科的疾患	二分脊椎、ペルテス等の特徴と理学療法
15	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 理学療法士として臨床に携わっている。実技・講義形式で授業を行う。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学8[義肢装具学] 担当講師 : 内山 孝夫

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 義肢装具学テキスト(南江堂) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 理学療法士として、切断者の使用している義肢を正確にとらえることは必要となる。

義肢の種類から、理学療法の進め方、ADI、さらには切断者のスポーツまで理解することを目標とする。

【講義概要】

切断の原因等について学んだ後、各種切断の特徴とそれに合う義肢について研鑽します。

大腿切断の異常歩行についての動作についても学びます。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	義肢学総論
2	切断の原因	原因、部位
3	大腿義足	ソケットについて
4	大腿義足	作図（相手のソケット）
5	大腿義足	膝継手
6	大腿義足 股義足	足継手 股継手
7	切断の評価	肢長 周径 筋力等
8	切断端の管理	ソフトドレッシング ソフトドレッシング
9	下腿義足	下腿義足、膝義足、サイム
10	理学療法	切断者の理学療法・ADL
11	正常歩行	正常歩行について
12	異常歩行	大腿義足の異常歩行
13	義手	義手
14	スポーツ	切断とスポーツ
15	まとめと総合評価	まとめと総合評価

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

病院に勤務した理学療法士が、実務経験に基づいて、理学療法士養成に向けた授業を展開します。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学8〔義肢装具学〕 担当講師 : 内山 孝夫

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 義肢装具学テキスト(南江堂) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 装具について基礎から学ぶ。さらに、各疾患に対して適応となる装具が言えるようにすることを目標とする。

【講義概要】

装具とは何かを学んだ後、各種装具の特徴を勉強します。次に、疾患別の装具について学び、その働きが分かるように講義を深めていきます。

回数	項 目	内 容
1	装具の概論	概論、短下肢装具（クレンザック）
2	短下肢装具	プラスチック装具
3	長下肢装具	長下肢装具と免荷装具
4	上肢装具	さまざまな上肢装具
5	体幹装具	さまざまな体幹装具
6	杖と車いす	杖と車いすのチェックアウト
7	疾患別の装具	脳卒中①
8	疾患別の装具	脳卒中②
9	疾患別の装具	脊髄損傷①
10	疾患別の装具	脊髄損傷②
11	疾患別の装具	脊髄損傷③
12	スポーツ	スポーツと装具①
13	スポーツ	スポーツと装具②
14	復習	
15	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

病院で勤務経験のある理学療法士が実務経験に基づいて、理学療法士養成に向けた授業を展開します。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学9 [ADL] 担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 日常生活活動学 (メジカルビュー社) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 日常生活活動の範囲、分類、評価を学び理解する。

【講義概要】 日常生活活動の概念や分類、代表的な評価方法について学ぶ。

日常生活活動の基本となる「基本動作」を理解し、生活行為をより安全・円滑に行うための杖や車いすを含めた補助具の使用
方法や、補助機器の操作方法について学習する。

回数	項 目	内 容
1	日常生活活動の概念	オリエンテーション、日常生活活動とは
2	日常生活活動の評価	日常生活活動の概要、代表的な評価指標
3	基本動作とセルフケア①	起居動作、移乗動作
4	基本動作とセルフケア②	移動動作・歩行
5	基本動作とセルフケア③	安全な介助方法、セルフケア、手段的日常生活活動
6	生活環境整備①	義肢装具、歩行補助具
7	生活環境整備②	車椅子・座位保持装置
8	生活環境整備③	日常生活用具・自助具、住宅改修と家庭環境の整備
9	身体活動量	理学療法と身体活動、身体活動量の測定、身体活動の増進
10	基本動作とセルフケア④	移動動作・歩行グループワーク
11	リハビリテーション支援機器①	リハビリテーション支援機器（リフト・トランスファーボード）グループワーク
12	リハビリテーション支援機器②	リハビリテーション支援機器（リフト・トランスファーボード）グループワーク
13	住宅改修について	グループワーク
14	事例検討	F I Mについて
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式と実習方式とで行う。講義方式で学んだ内容を基に実習方式で福祉用具の操作等の実用的な学習・演習を行う。担当教員は回復期病棟や訪問リハビリテーションでの勤務経験があり、在宅リハビリテーションに従事してきた。実務経験を基に、臨床に即した日常生活活動の評価、指導を行えるように授業する。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学9 [ADL] 担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 (出版社) : 日常生活活動学 (メジカルビュー社) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 疾患ごとのADLについて理解する。ADL練習を理論に基づいて実践ができる。

【講義概要】

後期では、前期で学んだ日常生活活動の概念や代表的な評価方法の知識を用いて、評価法の実践や生活環境の整備などについて学習する。

回数	項 目	内 容
1	基本動作とセルフケア	移乗動作介助方法 (車椅子～ベッド)
2	基本動作とセルフケア	移動動作・歩行
3	基本動作とセルフケア	安全な介助方法・セルフケア・手段的日常生活活動
4	生活環境整備	歩行補助具
5	生活環境整備	車椅子・座位保持装置
6	生活環境整備	日常生活用具・自助具
7	生活環境整備	住宅改修と家庭環境の整備
8	身体活動量	理学療法と身体活動量
9	代表的な疾患・障害における日常生活活動	片麻痺
10	代表的な疾患・障害における日常生活活動	脊髄損傷、脊椎・脊髄疾患
11	代表的な疾患・障害における日常生活活動	関節リウマチ
12	代表的な疾患・障害における日常生活活動	変形性関節症 (人工関節置換術含む)
13	代表的な疾患・障害における日常生活活動	呼吸器疾患・循環器疾患
14	代表的な疾患・障害における日常生活活動	神経筋疾患・高次脳機能障害・認知症
15	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式と実習方式とで行う。講義方式で学んだ内容を基に実習方式で福祉用具の操作等の実用的な学習・演習を行う。担当教員は回復期病棟や訪問リハビリテーションでの勤務経験があり、在宅リハビリテーションに従事してきた。実務経験を基に、臨床に即した日常生活活動の評価、指導を行えるように授業する。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学10[動作分析]

担当講師 : 石川 幸喜

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 基本動作の評価と治療アプローチ
(出版社)参考書 :
(出版社)

教育目標 【到達目標】 : ①観察した動作を言語化, 文章化できるようになること. ②正常動作と異常動作の違いを理解出来るようになることを目標とする。

【講義概要】

まず、正常動作を観察し、動きを言語化するところから始める。次に脳血管疾患患者等の動作の観察の中から、異常動作を抽出し、問題点を挙げレポートにするまでを学習する。

回数	項 目	内 容
1	動作分析とは	動作分析とはなにか なぜ動作分析が必要か
2	動作開始姿勢の理解	背臥位, 側臥位, 腹臥位, 端坐位, 立位姿勢の理解
3	動作開始姿勢の理解	背臥位, 側臥位, 腹臥位, 端坐位, 立位を言葉で表現する
4	動作開始姿勢の理解	背臥位, 側臥位, 腹臥位, 端坐位, 立位を文章にする
5	正常動作の観察および記録	寝返り動作の観察および記録①
6	正常動作の観察および記録	寝返り動作の観察および記録②
7	正常動作の観察および記録	起き上がり動作の観察および記録①
8	正常動作の観察および記録	起き上がり動作の観察および記録②
9	正常動作の観察および記録	立ち上がり動作の観察および記録①
10	正常動作の観察および記録	立ち上がり動作の観察および記録②
11	疾患のある動作の観察および記録	片麻痺の寝返り動作の観察および記録
12	疾患のある動作の観察および記録	片麻痺の起き上がり動作の観察および記録
13	疾患のある動作の観察および記録	片麻痺の立ち上がり動作の観察および記録
14	まとめ1	背臥位、寝返り、起き上がりのまとめ
15	まとめ2	立ち上がり、片麻痺の起き上がりのまとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

一般病院、介護老人保健施設において、脳血管障害、運動器疾患患者の動作分析を実施し治療につなげてきた経験を、授業に生かしていきたい。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学10[動作分析] 担当講師 : 石川 幸喜

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 症例動作分析(ヒューマン・プレス) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : ①観察した動作・歩行を言語化できるようになること. ②正常と異常の違いを理解出来るようになること、前期・後期を通して基本動作・歩行の観察および分析を行い、考察しレポート作成まで出来ることを目標に取り組む。

【講義概要】

基本動作の評価と治療アプローチ (メジカルビュー社) の内容を基に、基本動作、歩行の動作観察・分析を行い、レポート作成までを学習する。

回数	項 目	内 容
1	寝返り①	疾患のある動作観察および分析 レポート作成
2	寝返り②	疾患のある動作観察および分析 レポート作成
3	起き上がり①	疾患のある動作観察および分析 レポート作成
4	起き上がり②	疾患のある動作観察および分析 レポート作成
5	立ち上がり①	疾患のある動作観察および分析 レポート作成
6	立ち上がり②	疾患のある動作観察および分析 レポート作成
7	歩行観察・分析について	歩行観察・分析の意義・目的
8	正常歩行	歩行周期と各相
9	正常歩行	歩行観察実技
10	歩行観察および分析	疾患のある歩行分析実技・レポート作成
11	歩行観察および分析	疾患のある歩行分析実技・レポート作成
12	歩行観察および分析	疾患のある歩行分析実技・レポート作成
13	歩行観察および分析	疾患のある歩行分析実技・レポート作成
14	歩行観察および分析	レポート発表
15	まとめ	講義全体のまとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

一般病院、介護老人保健施設において、脳血管障害、運動器疾患患者の動作分析を実施し治療につなげてきた経験を授業に生かしていきたい。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学11[スポーツ理学] 担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間

教科書 : スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法が1冊 参考書 :
(出版社) : 第2版(文光堂) (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : スポーツ外傷・障害、疾患の病態を理解し、評価からリハビリテーションを実施できるようになる。

【講義概要】

スポーツ外傷・障害に必要な検査・測定を理解し、競技特性に合わせたリハビリテーションについて学習する。

回数	項 目	内 容	
1	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖①	頭部・胸部	石川
2	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖②	腰部	石川
3	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖③	肩関節・上腕部1	石川
4	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖④	肩関節・上腕部2	石川
5	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑤	肘関節・前腕部	石川
6	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑥	手関節・手指部	石川
7	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑦	股関節	石川
8	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑧	大腿部	石川
9	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑨	膝関節1	石川
10	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑩	膝関節2	石川
11	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑪	下腿部	石川
12	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑫	足関節1	石川
13	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑬	足関節2	石川
14	スポーツリハビリテーションを理解する上で必要な機能解剖⑭	足部・足指節	石川
15	まとめ	講義のまとめ (1~14)	石川
16	スポーツ理学療法総論	スポーツ理学療法について	竹内
17	スポーツ理学療法総論	スポーツ分野における理学療法士についてなど	竹内
18	肩関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	肩関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
19	肩関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	肩関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
20	肘・手関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	肘・手関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内

21	肘・手関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	肘・手関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
22	脊椎・股関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	脊椎・股関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
23	脊椎・股関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	脊椎・股関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
24	大腿・下腿のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	大腿・下腿の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
25	大腿・下腿のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	大腿・下腿の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
26	膝関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	膝関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
27	膝関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	膝関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
28	足部・足関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	足部・足関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
29	足部・足関節のスポーツ疾患における評価からリハビリテーション	足部・足関節の解剖と病態の解説を行い、実技を交え評価からリハビリテーションを学ぶ	竹内
30	まとめ	講義のまとめ (16~29)	竹内

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】担当教員は、理学療法士として医療機関でのスポーツリハビリテーションおよびスポーツ大会への帯同経験を基に講義を進めていく。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学12[アスリックリハビリテーション] 担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : スポーツ外傷・障害ハンドブック-発生要因と予防戦略 参考書 :
(出版社) : (医学書院) (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 身体各部位における外傷・障害発生要因を学び、競技復帰までのアスレティックリハビリテーション（以下、アスリハ）の基礎的内容について理解し、説明できる。

あわせて、予防のための対策について理解し、説明できるようになる。

【講義概要】

スポーツ競技の特性とその競技特有の各関節・筋・靭帯など外傷や障害の発生要因を理解するとともに、日常生活動作獲得後の競技復帰までのアスリハのトレーニングの段階や要素について学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	外傷・障害の発生要因	スポーツにおける外傷・障害の発生要因、競技別要因
2	アスリハの目的・構成要素	アスリハの位置づけ、目的や構成要素
3	足関節・足部	足関節、足部の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
4	足関節・足部	足関節、足部の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
5	膝関節	膝関節の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
6	膝関節	膝関節の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
7	股関節	股関節の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
8	股関節	股関節の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
9	トレーニング演習	競技復帰に向けた下肢全般のトレーニング・コンディショニング
10	腰部	腰部の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
11	腰部	腰部の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
12	肩関節	肩関節の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
13	トレーニング演習	競技復帰に向けた上半身・体幹部のトレーニング・コンディショニング
14	総合演習	競技に合わせたプログラム作成演習
15	試験	試験

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 コンディショニングやアスリハ分野を講義と実技を交えながら授業を進めていく。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学12[アスリック リハビリテーション]

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 (出版社) : 1. ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた
種目別スポーツ障害の診療 改訂第2版 (杏林書院)
2. 入門運動生理学第4版 (杏林書院)

参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 部位ごと、競技ごとの外傷・障害発生要因を学び、競技復帰までのアスレティックリハビリ

テーション (以下、アスリハ) プロセスと予防に向けた取り組みを学ぶ。

ADLを越えた、競技復帰のために必要な要素、段階を理解する

【講義概要】

スポーツ競技の特性とその競技特有の各関節・筋・靭帯など外傷や障害の発生要因を理解するとともに、日常生活動作獲得後の競技復帰までのアスリハのトレーニングの段階や要素について学ぶ。プログラム作成の土台となる運動生理学への理解を深める

回数	項 目	内 容
1	股関節、腰部の外傷・障害	腰部の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
2	肩関節の外傷・障害	肩関節の外傷・障害・競技復帰に向けたリハビリテーション・コンディショニング
3	運動生理学－エネルギー代謝	運動時のエネルギー供給システム
4	運動生理学－エネルギー代謝	運動と栄養
5	運動生理学－呼吸循環器系	運動時の呼吸循環器系応答
6	運動生理学－神経、筋	筋力発揮に関わる要因
7	運動生理学－神経、筋	神経－筋への様々な刺激方法
8	運動処方	運動処方
9	運動処方	運動処方の実践
10	運動処方	運動処方の実践
11	運動生理学－内分泌	運動と内分泌-1
12	運動生理学－内分泌	運動と内分泌-2
13	総合演習	外傷、障害予防プログラムの検討
14	全体総括	外傷、障害予防プログラムの検討
15	定期試験	定期試験

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 コンディショニングやアスリハ分野を講義と実技を交えながら授業を進めていく。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学13[理学テクニック] 担当講師 : 石川 幸喜

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 理学療法ハンドブック 改訂第4版 第2巻 治療アプローチ (出版社) 参考書 : (出版社)

教育目標 【到達目標】 : 理学療法における代表的な各々の基本的なテクニックを、解剖学、生理学、運動学を踏まえた理論的背景を理解した上で習得することを目標とする。

【講義概要】

とりわけ理学療法で使用頻度の高いストレッチング、モビライゼーションなどの講義と実技を実施する。

回数	項 目	内 容
1	理学療法テクニックに必要な触診	総論
2	理学療法テクニックに必要な触診	総論
3	ストレッチング	ストレッチング1
4	ストレッチング	ストレッチング2
5	ストレッチング	ストレッチング3
6	ストレッチング	ストレッチング4
7	DYJOC	理論背景
8	DYJOC	テクニック
9	モビライゼーション	モビライゼーションに必要な触診1 上肢
10	モビライゼーション	モビライゼーションに必要な触診2 下肢
11	モビライゼーション	モビライゼーション 上肢1 肩関節
12	モビライゼーション	モビライゼーション 上肢2 肘, 手, 手指関節
13	モビライゼーション	モビライゼーション 下肢1 股関節
14	モビライゼーション	モビライゼーション 下肢2 膝関節
15	モビライゼーション	モビライゼーション 下肢3 足, 足部関節
16	モビライゼーション	モビライゼーション 体幹 頸椎, 腰椎
17	レッドコード	レッドコードの基礎 基本的操作法
18	レッドコード	具体的治療法 頸椎, 腰椎リラクゼーション 筋力強化
19	PNF	PNFの理論
20	PNF	上肢のPNFパターン1

21	PNF	上肢のPNFパターン2
22	PNF	下肢のPNFパターン1
23	PNF	下肢のPNFパターン2
24	PNF	体幹のPNFパターン
25	テーピング	テーピングの基礎 手指のテーピング
26	テーピング	テーピング 足関節のテーピング
27	インソール	インソールの基礎
28	インソール	作成デモ
29	まとめ①	全講義のまとめ①
30	まとめ②	全講義のまとめ②

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義および実技方式を基本とする。実技試験は実施しない。

一般病院、介護老人保健施設等勤務時に、実践してきた経験を授業に生かしていきたい。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学14[ケース7] 担当講師 : 藤瀬 幸一

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : なし 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GIO:症例に合わせた理学療法士としての臨床推論能力を身に付ける。

SB0:①評価から治療までの理学療法の流れを理解する。②理学療法士が行う一般的な評価項目を列挙し、その意義を説明できる。③評価結果から問題点の抽出ならびに治療プログラムの立案ができる。

【講義概要】

整形外科疾患や中枢神経疾患の症例をもとに、理学療法士が行う評価から治療プログラム立案までの臨床推論について学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション、臨床推論について
2	理学療法の進め方	処方箋を受け取ってから治療プログラムの立案までの流れを学ぶ
3	変形性膝関節症①	情報収集
4	変形性膝関節症②	検査測定項目の立案
5	変形性膝関節症③	検査測定の意義
6	変形性膝関節症④	検査結果から問題点の抽出①
7	変形性膝関節症⑤	検査結果から問題点の抽出②
8	変形性膝関節症⑥	検査結果から問題点の抽出③
9	変形性膝関節症⑦	治療プログラムの立案と実施①
10	変形性膝関節症⑧	治療プログラムの立案と実施②
11	変形性股関節症 (THA) ①	情報収集・検査測定項目の立案
12	変形性股関節症 (THA) ②	検査測定の意義
13	変形性股関節症 (THA) ③	検査結果から問題点の抽出①
14	変形性股関節症 (THA) ④	検査結果から問題点の抽出②
15	変形性股関節症 (THA) ⑤	治療プログラムの立案と実施①
16	変形性股関節症 (THA) ⑥	治療プログラムの立案と実施②
17	脳血管障害①	情報収集・検査測定項目の立案
18	脳血管障害②	検査測定の意義
19	脳血管障害③	検査結果から問題点の抽出①
20	脳血管障害④	検査結果から問題点の抽出②

21	脳血管障害⑤	検査結果から問題点の抽出③
22	脳血管障害⑥	検査結果から問題点の抽出④
23	脳血管障害⑦	治療プログラムの立案と実施①
24	脳血管障害⑧	治療プログラムの立案と実施②
25	パーキンソン病①	情報収集・検査測定項目の立案
26	パーキンソン病②	検査測定の意義
27	パーキンソン病③	検査結果から問題点の抽出①
28	パーキンソン病④	検査結果から問題点の抽出②
29	パーキンソン病⑤	治療プログラムの立案と実施
30	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】講義方式を基本とするが、臨床推論を深めるグループディスカッションを多く取り入れる。担当教員は理学療法士で、病院などでの実務経験に基づき授業を展開していく。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学15[臨床技能]

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 基礎から確認 PT臨床実習チェックリスト (出版社) : (メディカルビュー社) 参考書 : (出版社) :

教育目標 (到達目標) : (G10) 臨床実習に臨むに当たり、総合的な知識、技術、態度を備える。

(S0) 理学療法学生として、臨床実習に臨むにふさわしい最低限の人体の知識を有している。最低限の評価技能を

備えている。心構え、準備ができています。レポートの書き方が分かる。

【講義概要】

臨床実習に必要な心構えや準備(総合的な知識、技術、態度)を理解し、ICFの考え方に即した

考え方、リスク管理などについて学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	臨床実習に臨むにあたって、臨床実習で大切なこと
2	症例をまとめるポイント	情報収集、ICFに基づいた考え方、統合と解釈
3	評価手技の確認①	バイタル測定、リスク管理
4	評価手技の確認①	疾患ごとの評価項目
5	評価手技の確認②	形態測定
6	評価手技の確認③	MMT
7	評価手技の確認④	神経検査
8	評価手技の確認⑤	バランス検査
9	評価手技の確認⑥	ADL (FIM、BI)
10	評価手技の確認⑦	介助方法
11	評価手技の確認⑧	動作観察①
12	評価手技の確認⑨	総合実技練習
13	評価手技の確認⑩	総合実技練習
14	OSCE	OSCE (客観的臨床技能評価試験)
15	OSCE	OSCE (客観的臨床技能評価試験)

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技形式で行う。担当教員は理学療法士として、病院・介護施設・在宅の分野で多くのケースを通じて、理学療法を行うと同時に、実習生の指導を行う。

2022年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学15[臨床技能] 担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 基礎から確認 PT臨床実習チェックリスト (出版社) : (メディカルビュー社) 参考書 : (出版社) :

教育目標 (到達目標) : GIO:臨床現場での接遇および検査測定方法を身に付ける。

SBO:①患者・スタッフに対して不快感を与えない対応ができる②安全に配慮した患者対応ができる。

③患者の障害に合わせた適切な介助および検査測定が行える。

【講義概要】

対人に関わるにあたってコミュニケーション能力は必須となる。臨床現場でのコミュニケーションから、介助方法、検査測定技術の習得が出来るよう講義を進めていく。

回数	項 目	内 容
1	実習とは	実習の目的、実習の準備、学生のあるべき姿勢
2	コミュニケーション	臨床現場でのコミュニケーション
3	コミュニケーション	医療面接、接遇、ロールプレイ
4	動作介助練習	寝返り動作、起き上がり動作
5	動作介助練習	立ち上がり動作・移乗動作
6	動作介助練習	動作介助ケーススタディ
7	検査測定練習	形態測定
8	検査測定練習	ROM-T
9	検査測定練習	ROM-T
10	検査測定練習	MMT
11	検査測定練習	MMT
12	検査測定練習	MMT
13	OSCE準備	OSCE準備
14	まとめ	OSCE
15	まとめ	OSCE

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式と実習方式を基本とする。担当教員は訪問リハビリテーションや介護予防事業に携わった経験があり、実務経験を基に理学療法士として必要な知識が得られるよう、授業を進めていく。

2022年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 地域理学療法学Ⅱ 担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 1 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 地域リハビリテーション学テキスト 改定第3班 (南江堂) 参考書 : (出版社)

教育目標 【到達目標】 : GIO: 地域リハビリテーションの理念と理学療法士の役割を理解する

SB0 : ①入所施設の理学療法について説明できる②通所施設の理学療法について説明できる

③訪問分野での理学療法について説明できる

【講義概要】

地域包括ケアシステムの概念に必要な、医療機関（入院・外来）、介護関連施設（入所・通所・訪問）分野での理学療法士の多職種の連携をふまえた役割について具体的に学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	地域リハビリテーションについて
2	地域での活動について	地域での理学療法士の役割（通所、入所）
3	福祉用具①	福祉用具の種類、使い方、介助について
4	福祉用具②	福祉用具の種類、使い方、介助について
5	障がい者スポーツ①	障がい者スポーツの現状
6	在宅（医療、介護）施設	訪問リハビリテーションでの理学療法
7	介護保険	介護保険制度について
8	介護予防	介護予防と介護予防教室
9	障がい者スポーツ②	障がい者スポーツ体験
10	事例検討①	症例説明
11	事例検討②	グループワーク
12	事例検討③	まとめ・確認
13	健康増進	ヘルスプロモーションについて
14	地域でのかかわり	困難事例、まとめ
15	まとめ	まとめと確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 担当教員は、医療機関、介護関連施設において理学療法士として、ご本人、ご家族をはじめ、多職種とかかわり、地域での理学療法を経験する。